

(様式 1-3)
山元町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和 2 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	58	事業名	低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業(個人設置型) (山元町浄化槽設置整備復興事業)	事業番号	E-1-1
交付団体		山元町	事業実施主体 (直接/間接)	山元町 (直接)	
総交付対象事業費		30,554 (千円)	全体事業費	30,554 (千円)	
事業概要					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 津波被害及び地震被害を受け、個別移転による住宅等再建をする者に対し、住宅等の再建支援として、汚水を処理するための浄化槽の設置費用の一部を補助する。 個別移転及び地震被害による住宅等再建：167 件</p> <p>■旧下水道地域浄化槽整備 津波被害により下水道施設が損壊し、下水道を復旧しない地域において下水道から浄化槽に転換する者に対し、浄化槽の設置費用の一部を補助する。 浄化槽への転換：33 件</p> <p>【全体事業費の変更】(令和 2 年 5 月 19 日) 事業見直し等により全体事業費を 82,718 千円から 30,554 千円に減額するもの。</p>					
当面の事業概要					
<平成 25 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 9 件 = 3,726 千円</p> <p>■旧下水道地域浄化槽整備 (5 人槽) 事業費 332 千円 × 1 件 = 332 千円 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 16 件 = 6,624 千円</p> <p style="text-align: right;">計 10,682 千円</p>					
<平成 26 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 32 件 = 13,248 千円</p> <p>■旧下水道地域浄化槽整備 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 16 件 = 6,624 千円</p> <p style="text-align: right;">計 19,872 千円</p>					
<平成 27 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 32 件 = 13,248 千円</p> <p style="text-align: right;">計 13,248 千円</p>					
<平成 28 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 32 件 = 13,248 千円</p> <p style="text-align: right;">計 13,248 千円</p>					
<平成 29 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 32 件 = 13,248 千円</p> <p style="text-align: right;">計 13,248 千円</p>					
<平成 30 年度>					
<p>■個別移転及び地震被害による住宅等再建 (7 人槽) 事業費 414 千円 × 30 件 = 12,420 千円</p> <p style="text-align: right;">計 12,420 千円</p>					
東日本大震災の被害との関係					
津波及び地震被害を受けた者の住宅再建支援として補助が必要である。 また、損壊した下水道に替わり汚水を処理する浄化槽整備のため補助が必要である。					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

山元町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和 2 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	73	事業名	埋蔵文化財収蔵庫建設事業	事業番号	◆A-4-1
交付団体	山元町		事業実施主体 (直接/間接)	山元町 (直接)	
総交付対象事業費	31,235 (千円)		全体事業費	109,468 (千円)	
事業概要					
<p>震災後、本町では、復興事業に関連する埋蔵文化財の発掘調査が急増した結果、発掘調査の実施に伴い多数の遺物が出土した。しかしながら、本町においては、出土遺物の収蔵施設は整備されていない状況であったため、現在は、仮設施設及び宮城県収蔵施設に出土遺物を保管し、発掘調査報告書の作成に係る作業を進めているところである。</p> <p>これまで復興事業に伴う発掘調査では、土器類のほかに、金属製品など脆弱な遺物も出土しており、今後、出土遺物を収蔵・保管する際に、さらなる劣化を防ぐことのできる環境 (温湿度管理可能な環境) を備えた文化財保管用の収蔵庫が必要であるため、埋蔵文化財 (出土遺物) の収蔵庫を整備するものです。</p> <p>参考 1 : 収蔵庫の延床面積 : 198.79 m² (1 階建) 設置個所 : 役場敷地内 工事種別 : 増築 (既存施設の不可分) 特記事項 : 内装は温湿度管理のできる空調設備及び文化財専用の調湿材を使用</p> <p>参考 2 : 山元町における震災後の発掘調査件数と出土遺物量 (平成 23~30 年度実績) 調査遺跡 : 63 遺跡・総調査面積約 200,000 m² 出土遺物 : 遺物収納箱 (590mm×386mm×H145mm) 1,100 箱 (現状) 追加調査 : 令和元年後半期に国交省 (社総交) 関連の復興交付金による発掘調査を予定</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 5 月 10 日) 埋蔵文化財収蔵庫の建設に必要な工事費及び監理費の申請に伴い、A-2-1 坂元小学校講堂 (屋内運動場) 改築事業、◆A-2-1-1 山元町小中学校の今後のあり方検討業務事業、◆A-2-1-2 坂元小学校講堂 (屋内運動場) 改築に伴う機能強化・回復事業、A-1-1 坂元小学校講堂 (屋内運動場) 増築事業より 78,233 千円 (国費 : H24 予算 2,944 千円、H25 予算 59,642 千円) を流用する。 これにより、交付対象事業費は、31,235 千円 (国費 : 24,988 千円) から 109,468 千円 (国費 : 87,574 千円) に増額</p> <p>(期間延伸による変更について) (令和 2 年 5 月 19 日) 本事業については、令和元年 8 月に着工後、建築工事を計画通り進めてきたが、令和元年 12 月末のコンクリート打設後、建物躯体全体に不良箇所が多数存在し、専門家による躯体の健全性が証明できない結果を受け、建物基礎を除いた上屋部分を解体して再構築することとした。 これに伴い、事業完了月を延伸し、令和 2 年 9 月を予定している。</p>					
当面の事業概要					
<平成 30 年度> 基本・実施設計					
<令和元年度> 工事実施					
<令和 2 年度> 工事実施					
東日本大震災の被害との関係					
山元町内における復興事業等に関連する発掘調査において出土した埋蔵文化財 (出土遺物) 収蔵庫の建設を行うもの。					
関連する災害復旧事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。関連する基幹事業					
事業番号	A-4-1				
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業				
交付団体	山元町				
基幹事業との関連性					